

令和4年版

少年非行白書

～少年非行情勢と保護総合対策の現状～

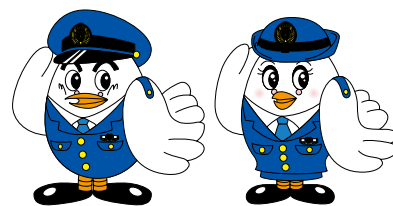


三峯神社



埼玉県警察

Saitama Prefectural Police



埼玉県警察シンボルマスコット：ポッポくんとポポ美ちゃん

本書に使用した用語の説明

非行少年等の種別

- 非行少年・・・犯罪少年、触法少年及び<犯少年をいう。
 - 犯罪少年・・・罪を犯した14歳以上20歳未満の少年をいう。
 - 触法少年・・・犯罪に触れる行為をした14歳未満の少年をいう。
 - <犯少年・・・保護者の正当な監督に服しない性癖があるなど、一定の事由があつて、その性格又は環境から判断して、将来、罪を犯し、又は刑罰法令に触れる行為をするおそれのある少年をいう。
- 不良行為少年・・・非行少年には該当しないが、飲酒、喫煙、深夜はいかい、その他自己又は他人の徳性を害する行為をしている少年をいう。
- 刑法犯少年・・・刑法等に規定する罪（交通関係を除く。）を犯した（犯罪に触れる行為をした）少年をいう。
 - 刑法犯の罪種別分類
 - ・ 凶悪犯・・・殺人、強盗、放火、強制性交等
 - ・ 粗暴犯・・・凶器準備集合、暴行、傷害、脅迫、恐喝
 - ・ 窃盗犯・・・窃盗（ひったくり、万引き、オートバイ盗、自転車盗等）
 - ・ 知能犯・・・詐欺、横領、偽造等
 - ・ 風俗犯・・・賭博、わいせつ（強制、公然等）
 - ・ その他・・・占有離脱物横領、器物損壊等の上記に掲げるもの以外の罪種
- 被害少年・・・犯罪その他少年の健全な育成を阻害する行為により被害を受けた少年（18歳未満）をいう。

再犯者率

- 検挙された刑法犯少年（犯罪少年）のうち、かつて非行を犯した少年の割合をいう。

初発型非行

- 万引き、オートバイ盗、自転車盗及び占有離脱物横領をいう。

人口比

- 成人は20歳以上、少年は14歳から19歳の人口1,000人当たりの検挙人員をいう。
※ 各市町村の人口は、令和3年1月1日現在における埼玉県町（丁）字別人口調査による。

福祉犯罪

- 少年の福祉と保護を目的とした各種特別法・条例に違反する犯罪をいう。
※ 統計図表中の構成比等は、四捨五入してあるため統計が必ずしも100.0にならない場合があります。

目次

I 少年非行情勢

1 刑法犯少年	
(1) 全国と本県の比較	
ア 検挙・補導人員の推移	3
イ 都道府県別検挙・補導人員	4
ウ 刑法犯全体に占める少年の割合の推移	4
エ 人口比の推移	4
(2) 県内の情勢	
ア 学職別構成比の推移	5
イ 罪種別の推移	5
ウ 触法少年の推移	5
エ 市区町村別にみる刑法犯少年（犯罪少年）の現状	6
オ 再犯者率	7
カ 初発型非行	7
キ 特殊詐欺	8
2 不良行為少年	
(1) 不良行為少年の補導人員	9
(2) 主な行為別の補導状況	10
ア 喫煙	10
イ 深夜はいかい	10

II 少年の福祉を害する犯罪

1 福祉犯罪の現状	
(1) 福祉犯罪全体	11
ア 被害状況	11
イ 検挙状況	12
(2) 児童ポルノ事犯の被害状況	12
2 SNSに起因した事件の被害状況	13
3 薬物乱用	15
4 児童虐待	
(1) 児童虐待による児童相談所への通告人員	16
(2) 児童虐待による検挙状況	16

Ⅲ 少年非行防止・保護総合対策の推進

1	規範意識を醸成する活動	
(1)	非行防止教室	18
(2)	スクール・サポーター	18
(3)	少年の社会参加活動	18
(4)	少年柔道剣道教室	18
2	街頭補導活動	19
3	立ち直り支援活動	19
4	関係機関・団体との連携	
(1)	学校警察連絡協議会	19
(2)	少年指導委員	19
(3)	埼玉県販売防犯連絡協議会	19
(4)	少年非行防止学生ボランティア「ピアーズ」	20
5	少年相談	20
6	児童虐待防止対策	20
	《埼玉県警察少年サポートセンターのご案内》	20

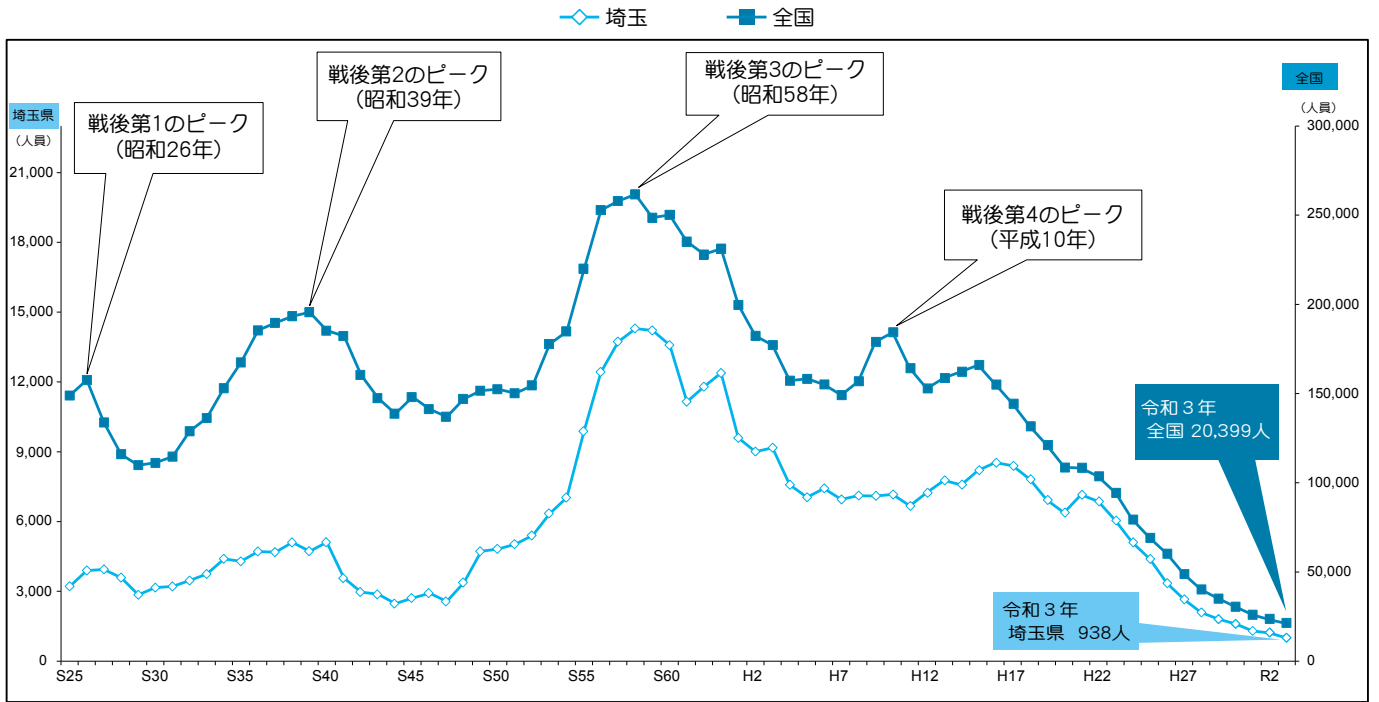
I 少年非行情勢

1 刑法犯少年

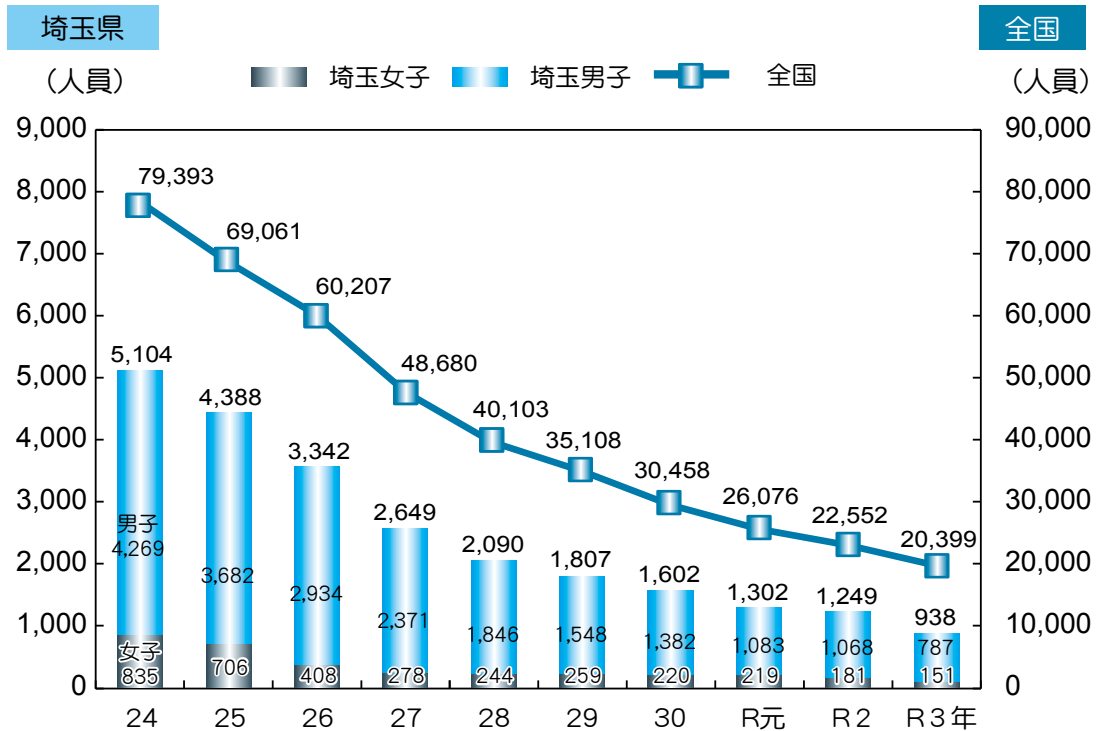
(1) 全国と本県の比較

ア 検挙・補導人員の推移

1-1 図 刑法犯少年の検挙・補導人員の推移（昭和25年～令和3年）

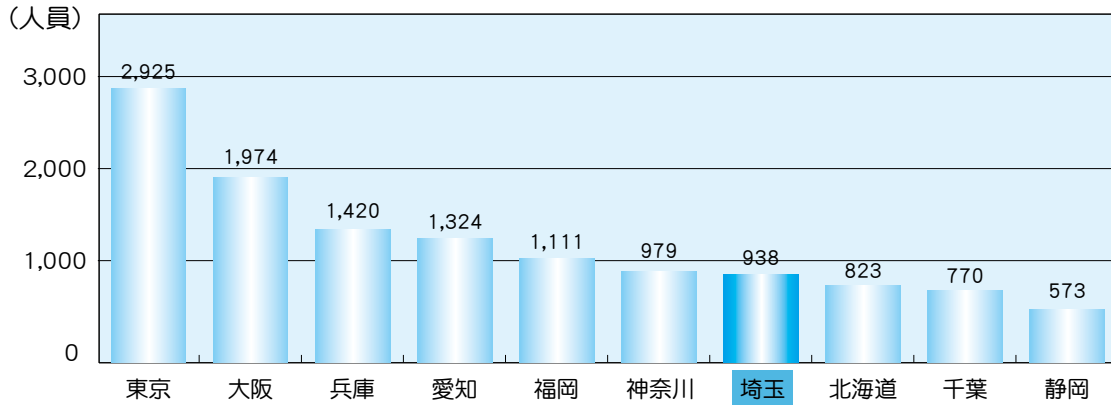


1-2 図 刑法犯少年の男女別検挙・補導人員の推移（平成24年～令和3年）



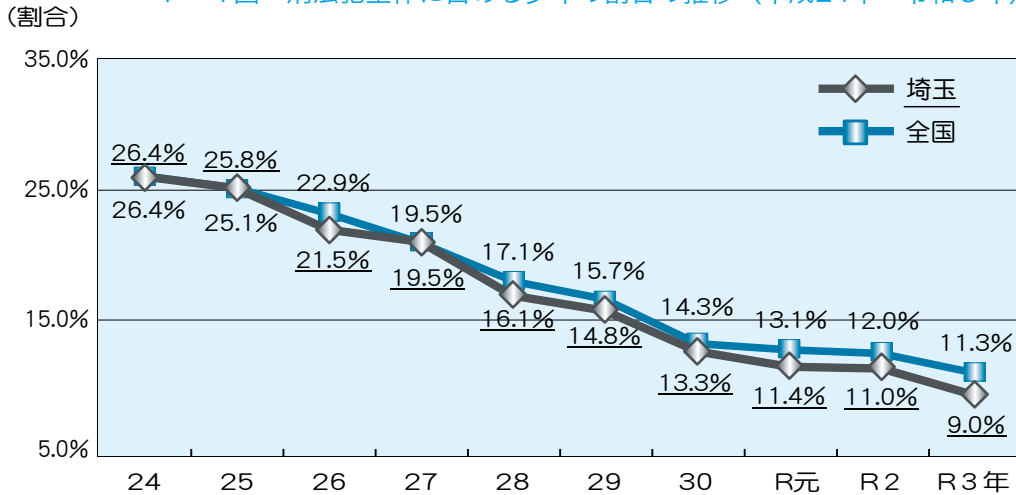
イ 都道府県別検挙・補導人員

1-3図 刑法犯少年の都道府県別検挙・補導人員（令和3年）



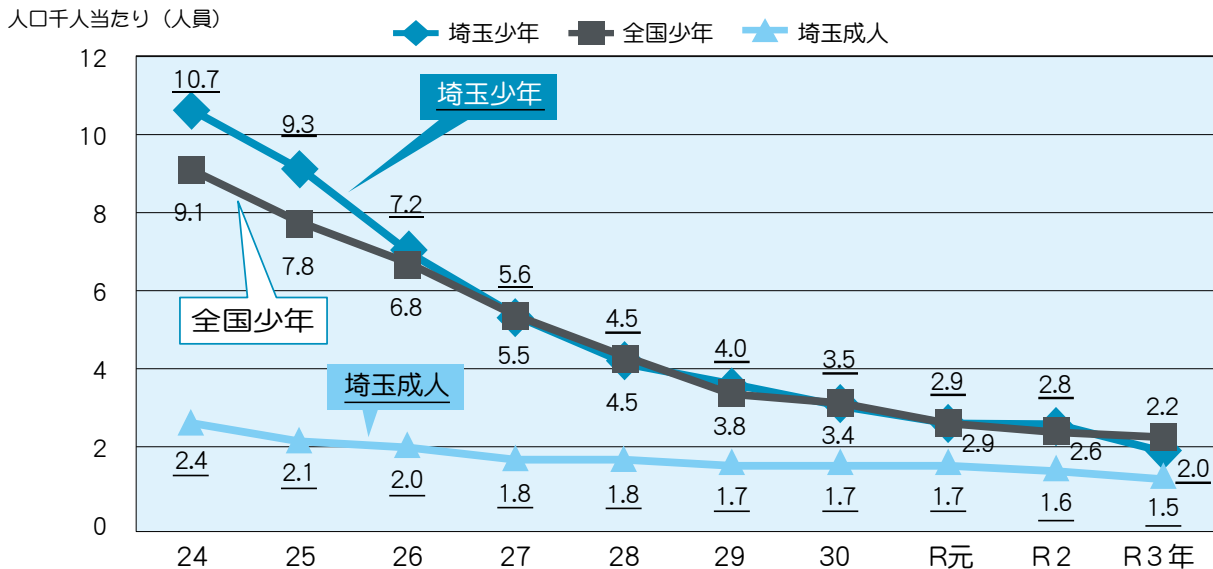
ウ 刑法犯全体に占める少年の割合の推移

1-4図 刑法犯全体に占める少年の割合の推移（平成24年～令和3年）



エ 人口比の推移

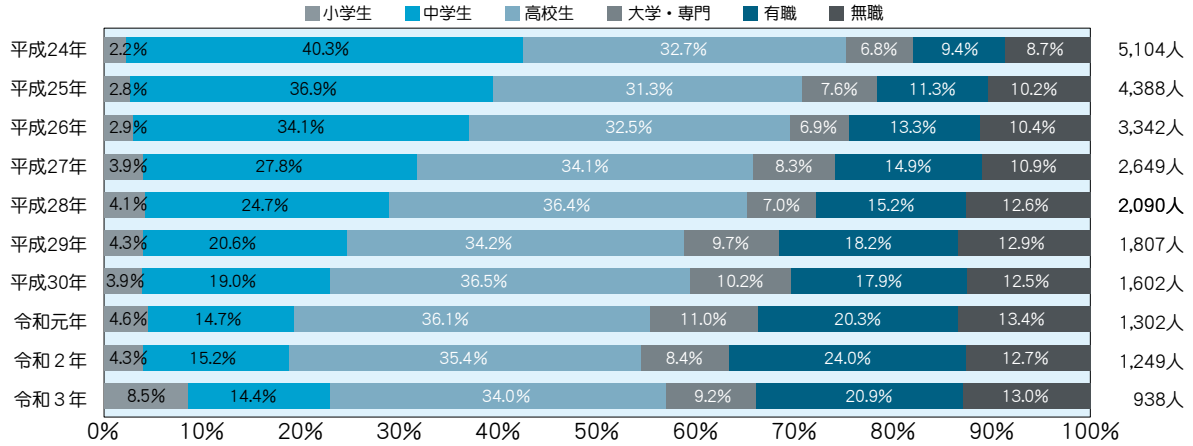
1-5図 刑法犯少年（犯罪少年）の人口比の推移（平成24年～令和3年）



(2) 県内の情勢

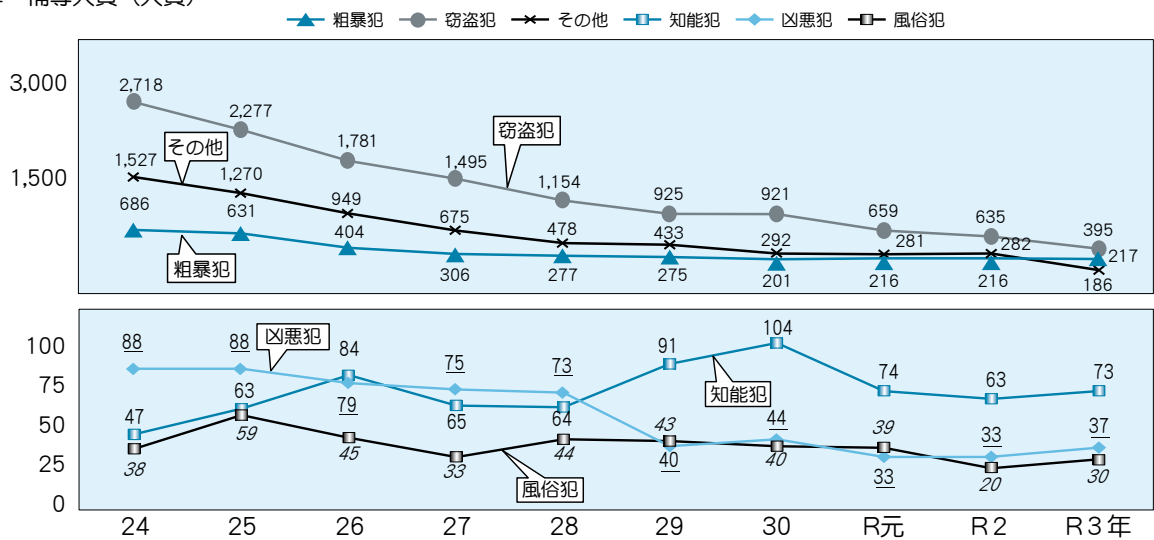
ア 学職別構成比の推移

1-6図 刑法犯少年の学職別構成比の推移（平成24年～令和3年）



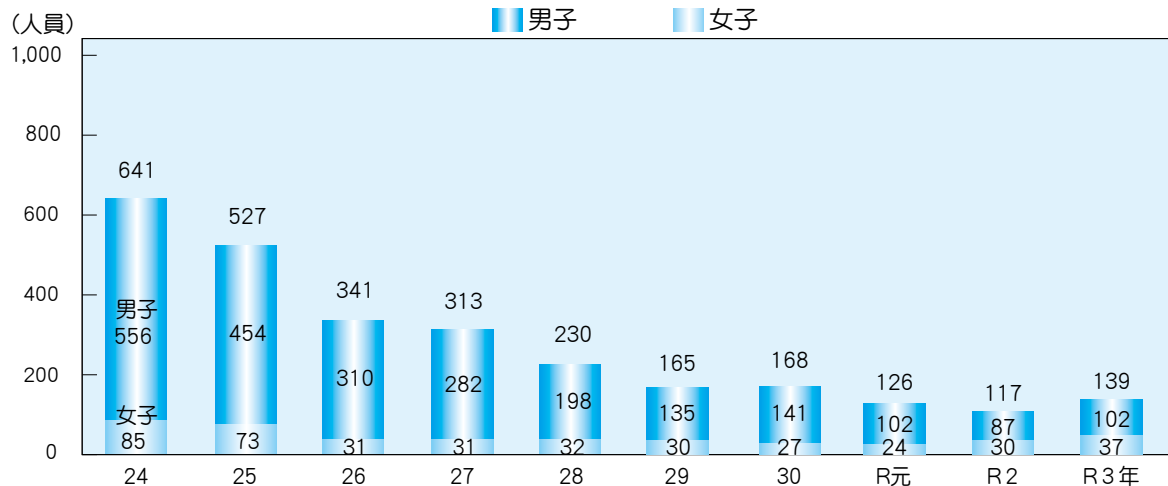
イ 罪種別の推移

1-7図 刑法犯少年の罪種別の推移（平成24年～令和3年）
検挙・補導人員（人員）



ウ 触法少年の推移

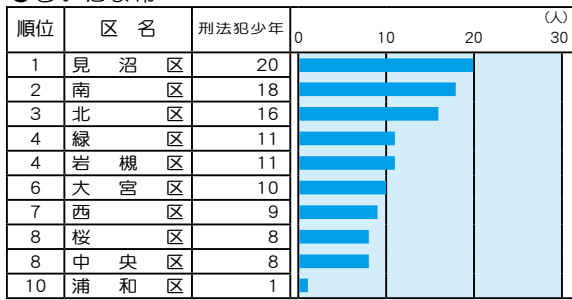
1-8図 触法少年（男女別）の推移（平成24年～令和3年）



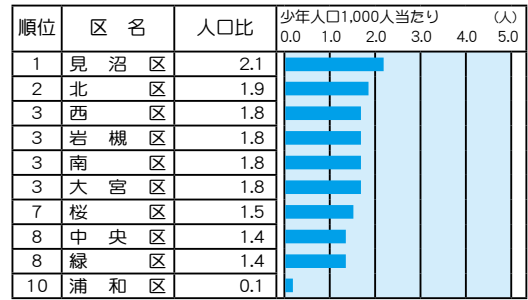
工 市区町村別にみる刑法犯少年（犯罪少年）の現状

1-1表 刑法犯少年(犯罪少年)の検挙人員

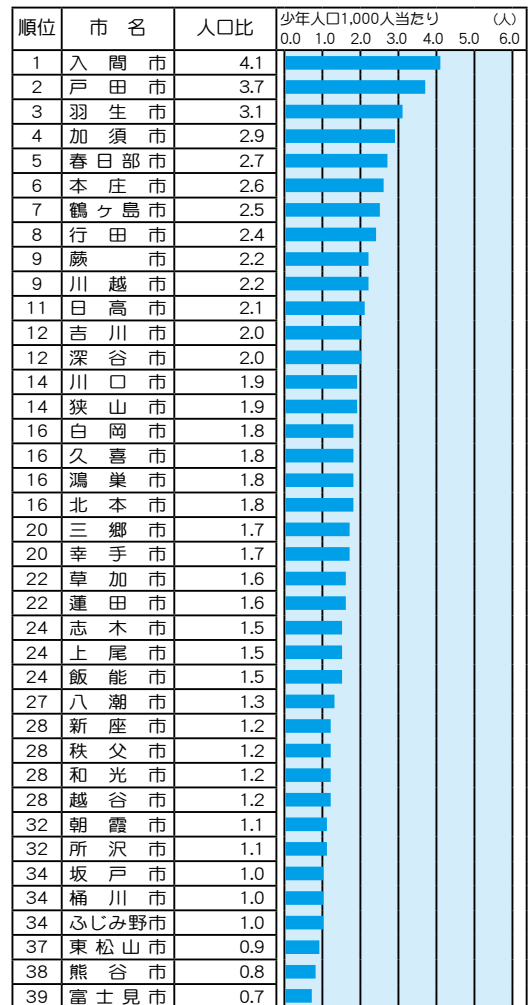
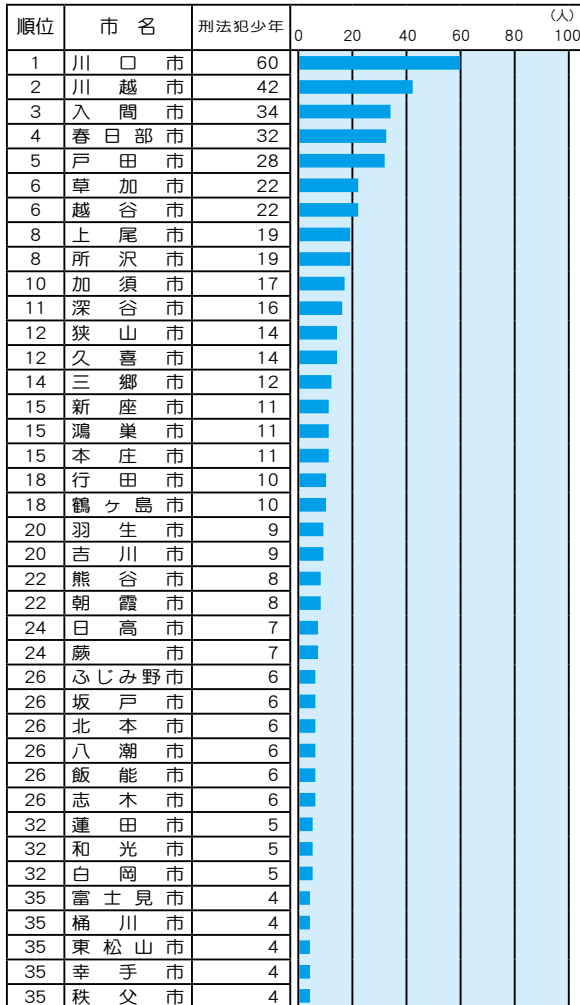
●さいたま市



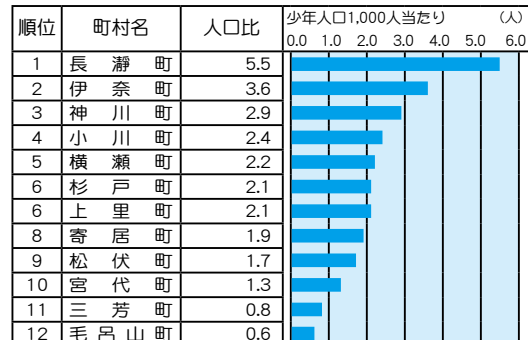
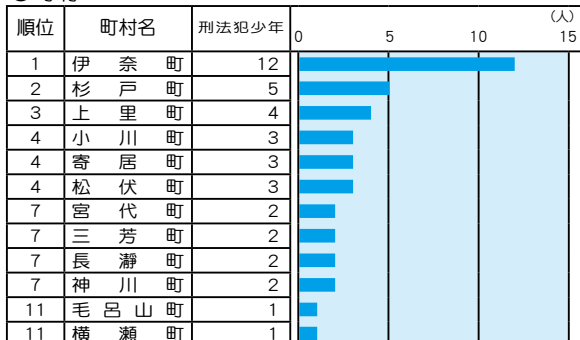
1-2表 刑法犯少年（犯罪少年）の人口比



●市（さいたま市を除く）



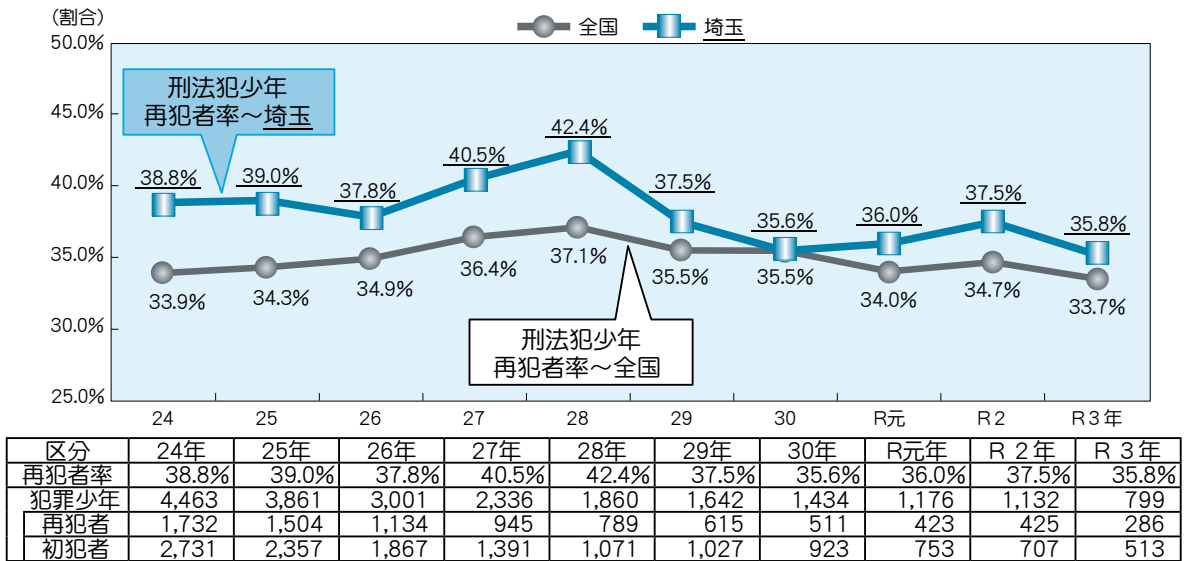
●町村



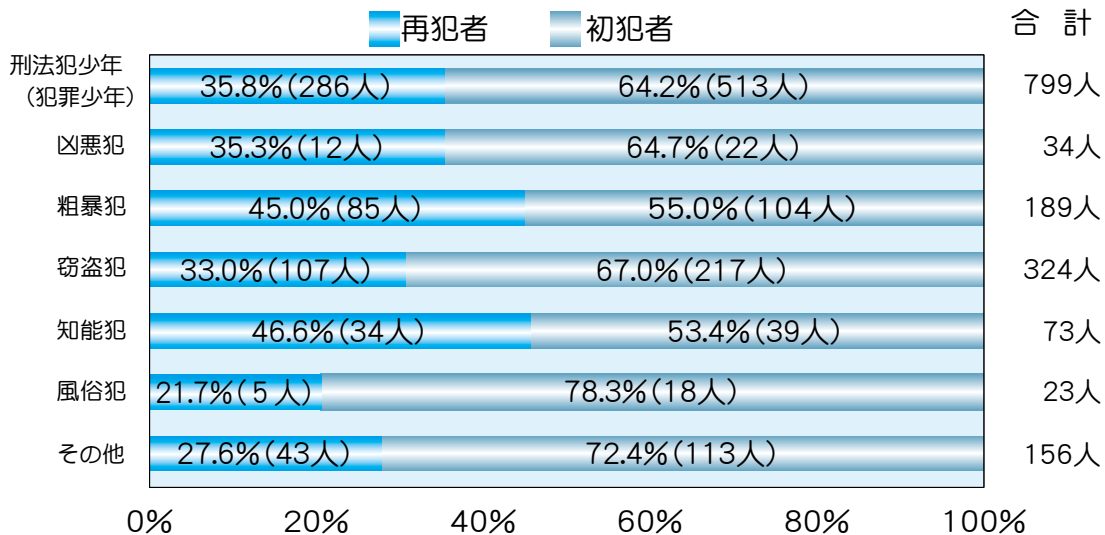
(注) 検挙した少年がない町村を除く。

オ 再犯者率

1-9図 全国と本県の再犯者率の推移（平成24年～令和3年）



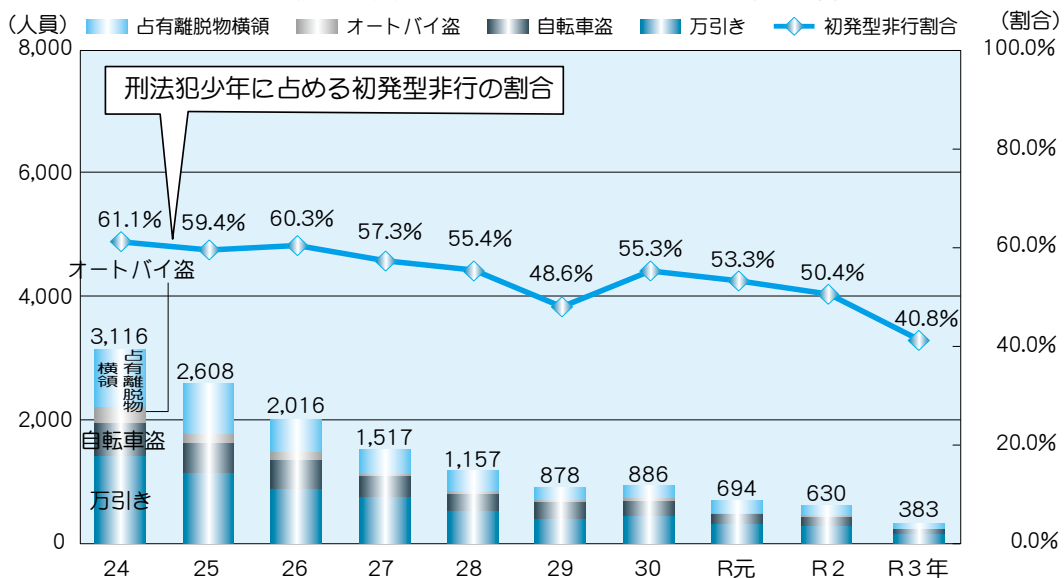
1-10図 罪種別の再犯者率（令和3年）



注)「その他」は、占有離脱物横領、住居侵入等の罪をいう。

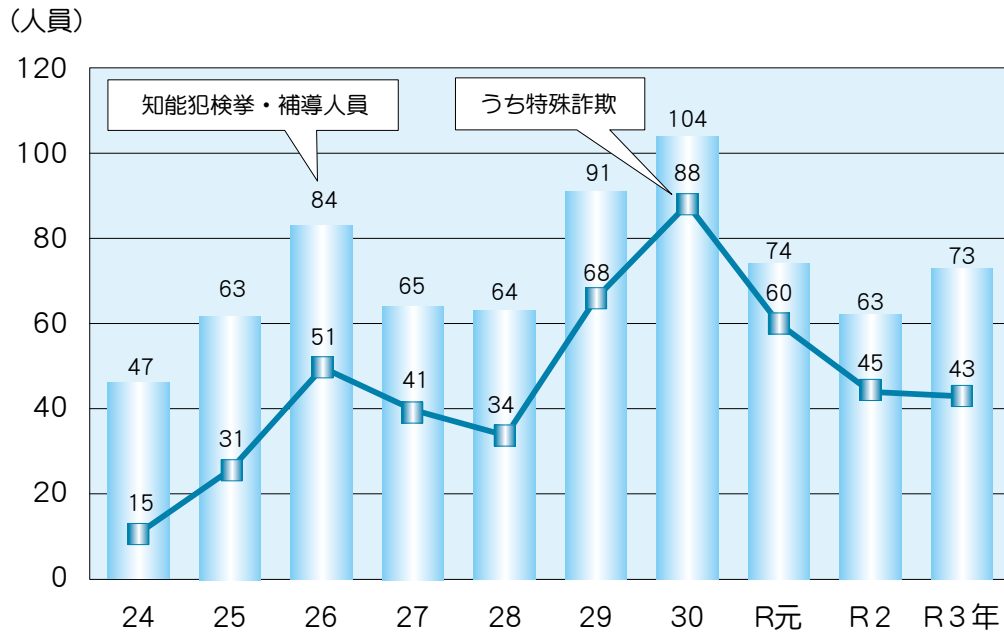
カ 初発型非行

1-11図 初発型非行の検挙・補導人員と刑法犯少年に占める割合の推移（平成24年～令和3年）

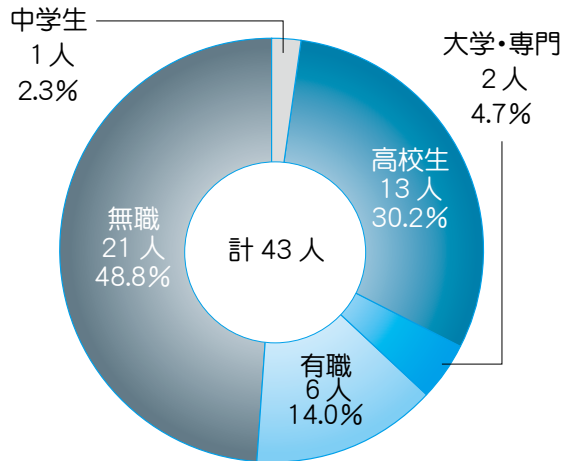


キ 特殊詐欺

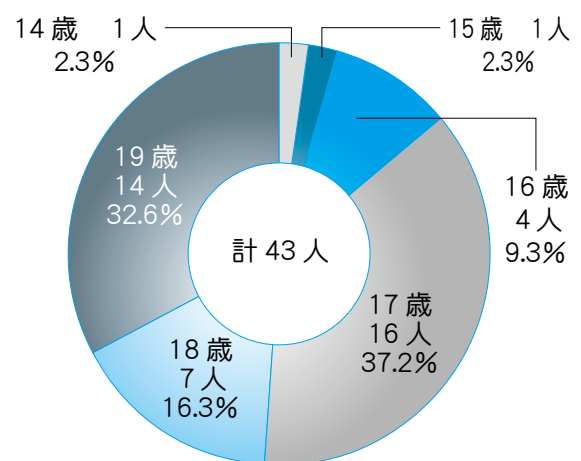
1-12図 特殊詐欺の検挙人員の推移（平成24年～令和3年）



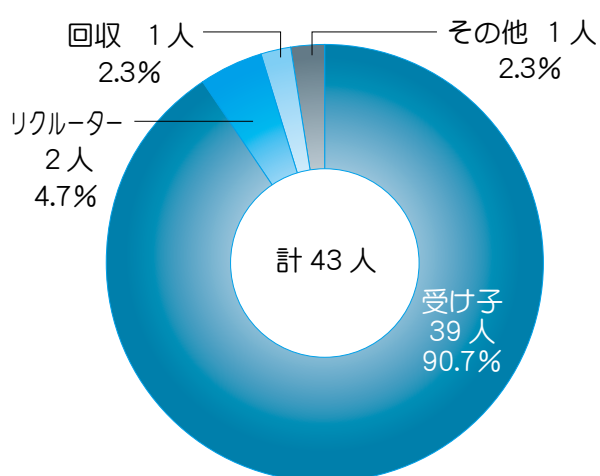
1-13図 学職別検挙状況（令和3年）



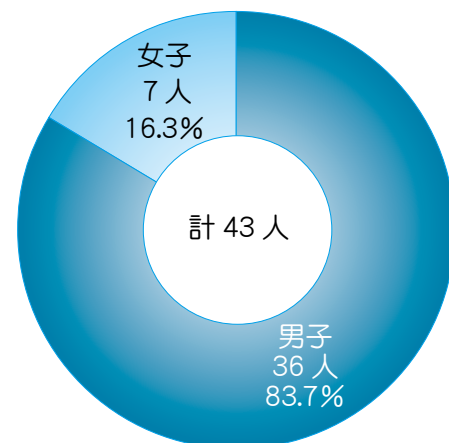
1-14図 年齢別検挙状況（令和3年）



1-15図 役割別検挙状況（令和3年）



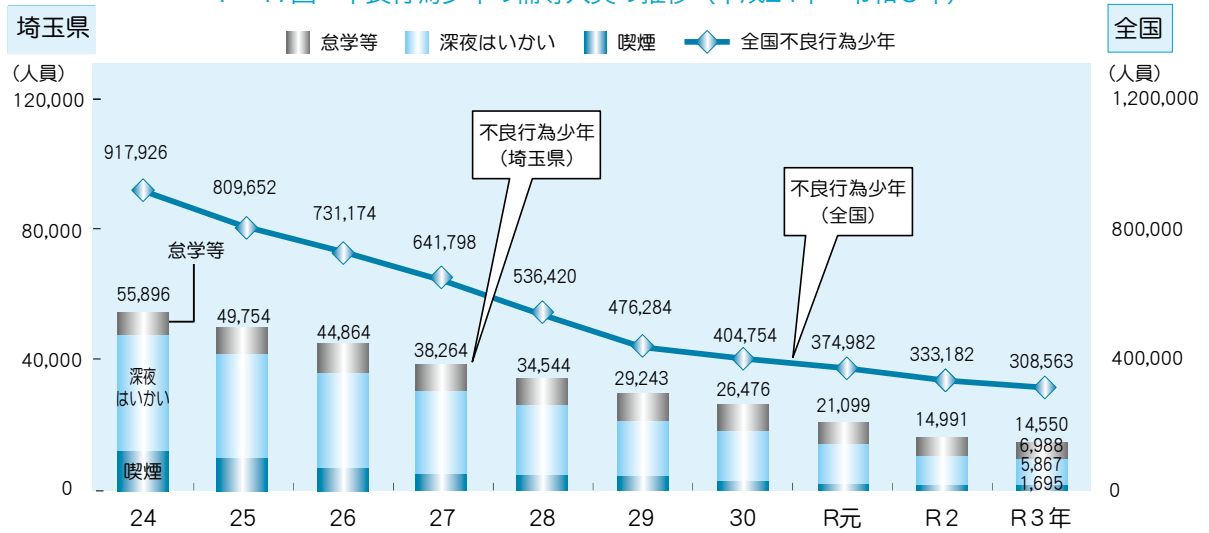
1-16図 男女別検挙状況（令和3年）



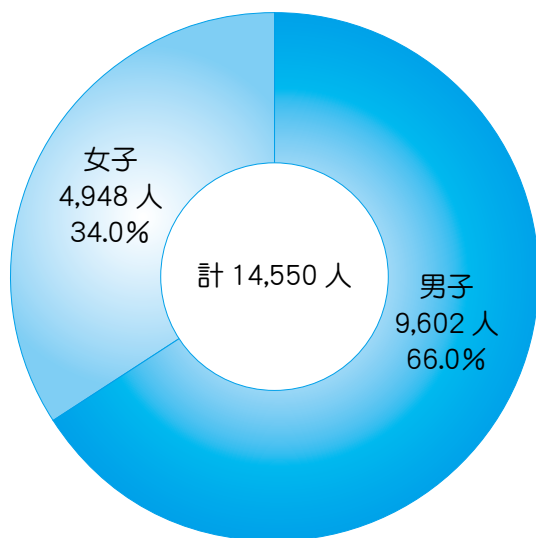
2 不良行為少年

(1) 不良行為少年の補導人員

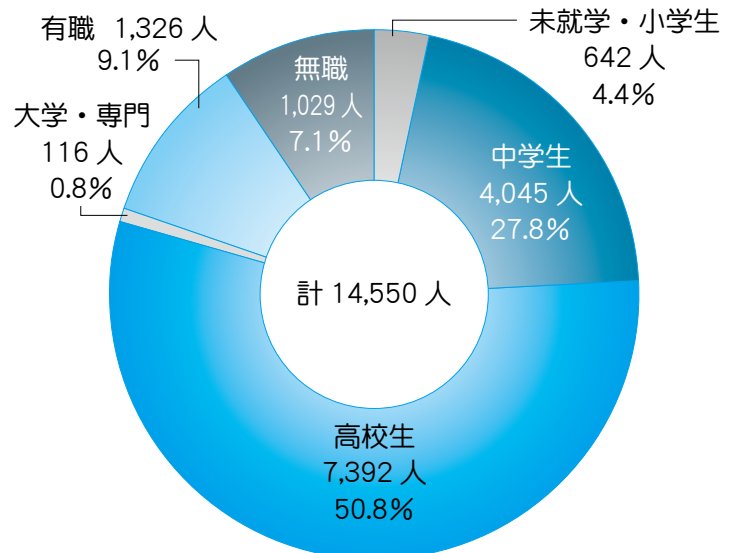
1-17図 不良行為少年の補導人員の推移 (平成24年~令和3年)



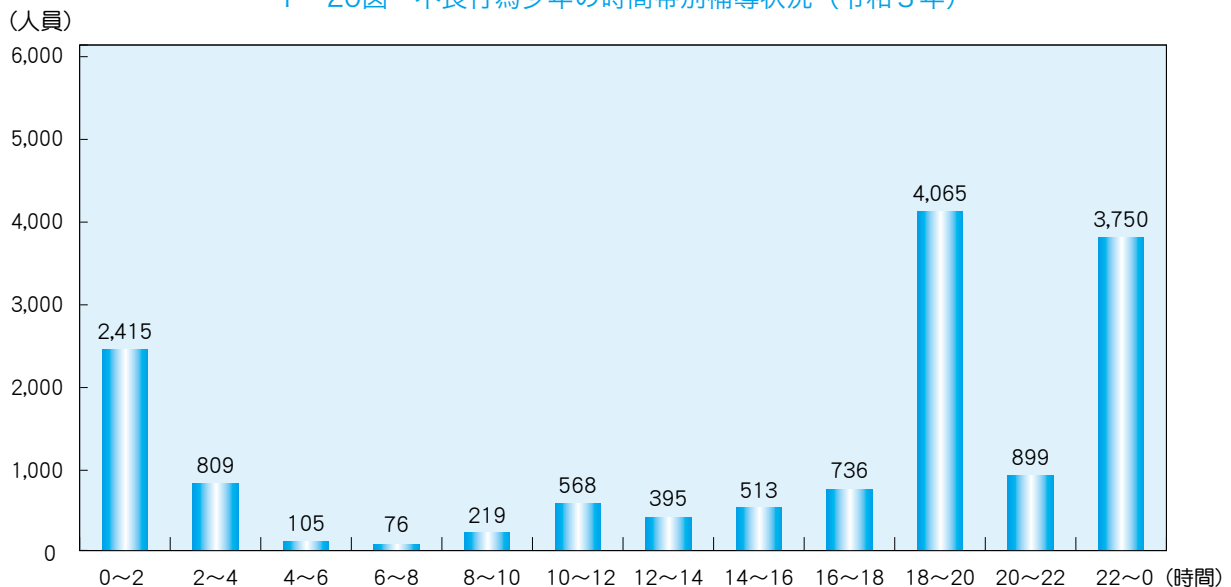
1-18図 不良行為少年の男女別補導状況 (令和3年)



1-19図 不良行為少年の学職別補導状況 (令和3年)



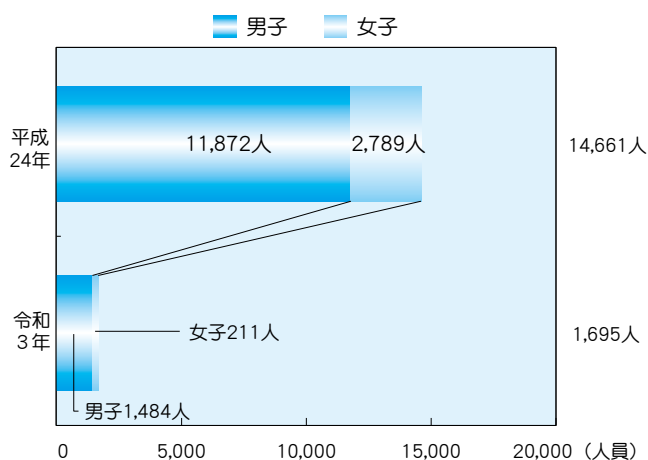
1-20図 不良行為少年の時間帯別補導状況 (令和3年)



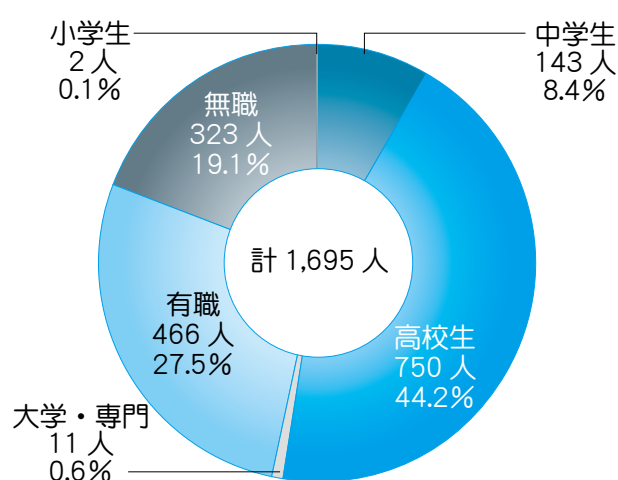
(2) 主な行為別の補導状況

ア 喫煙

1-21図 喫煙の補導人員の比較 (平成24年・令和3年)

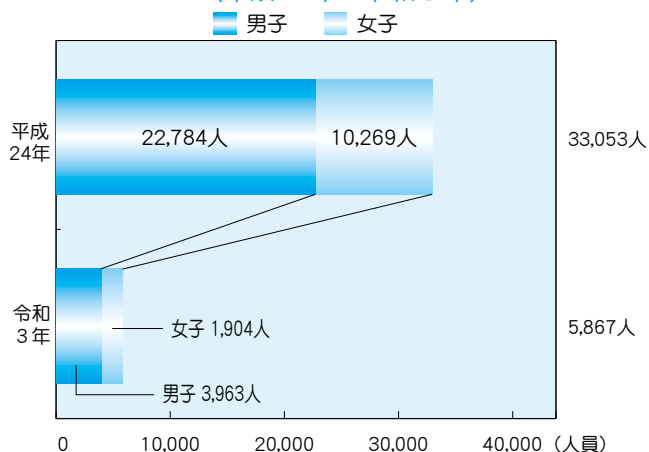


1-22図 喫煙の学職別補導状況 (令和3年)

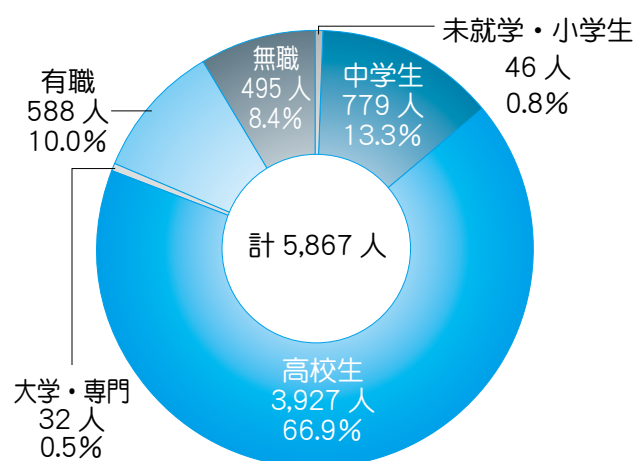


イ 深夜はいかい

1-23図 深夜はいかいの補導人員の比較 (平成24年・令和3年)



1-24図 深夜はいかいの学職別補導状況 (令和3年)



不良行為を未然に防ぐための重要なポイント！

～子供の変化に関心を～

非行につながる不良行為の例として、喫煙・飲酒、深夜はいかい、怠学などがあげられますが、このような行為の前兆として、

- 服装や持ち物、髪型の急な変化
- 乱暴な行為や言葉遣いの乱れ
- 家庭での会話がなくなる (少なくなる)
- 外泊や深夜の外出
- 学校での遅刻・欠席の増加や、荒れた授業態度

などがあります。

子供が非行に走ったり、犯罪被害に巻き込まれないようにするためには、普段のコミュニケーションにより子供の変化を見逃さないことが大切です。

